科目名：人間関係論Ⅰ	必修	2単位（90時間）
（Human Reletion）		

履修年次/時期：1年次　前期　　授業形態：講義,演習

主担当教員：木村 幸代

主担当教員詳細：総合病院や精神科病院の臨床経験、教員経験を活かし授業を行う。学生が人間関係の基礎的理論を学ぶとともに自身の思考や考え方の特徴を知り、今後の人間関係について自ら考えながら学べるよう授業を展開していく。

担当教員名：石井 一義

学修目的

看護学科のディプロマポリシーである医療専門職としての倫理観を育てるために、学問としての人間関係を人間そのものの発達から、自己の気づき・他者の理解のための基礎知識と対応方法を学び、コミュニケーション能力を向上させることができる。

関連するCP：CP1,CP5　　科目No. KLz-107

この科目が目的としているDP

1. 医療専門職としての倫理観を有する。	（1）生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
	（2）医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	（1）教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
	（2）専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	－
	（3）社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	－
3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	（1）多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	◎
	（2）優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
	（3）看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○

◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP
○：この講義・演習・実習と関連があるDP

到達目標

①人間の発達における関係性の意味を考察し、他者と信頼し合える良好な関係を形成し、維持・発展するための理論と技法について理解できる。
②自分自身の思考や感情に気づき、言葉にすることができる。
③他者の立場に立って、その人の感情や行動について考えることができ、自分の対応を選択できる。
④体験学習を通して今ここでの気づきを自己に取り入れ、発展させ、自己理解・他者理解を深めることができる。

授業概要

対人関係に関する基礎的な学習を通して自己理解・他者理解を深め、コミュニケーションスキル、カウンセリングマインドを学習する。

評価方法

授業における提出物：30%
演習参加度：20%
学期末試験：50%
課題に対するフィードバックは掲示にて行う。

予習・復習時間

【予習】2.0h
【復習】2.0h

教科書

系統看護学講座 基礎分野 人間関係論（医学書院）

参考書

授業で配布する資料

ｵﾌｨｽｱﾜｰ連絡先

石井一義　授業終了後～17：00　3号館3階共同研究室 k.ishii@kdu.ac.jp
木村幸代　9：00～～17：00　3号館3階研究室　s.kimura@kdu.ac.jp

実施回	第1回	実施日	2026/05/13 (水)	時限	1	班	
授業計画	1. 人間関係論とは ①関係的存在としての人間を理解できる。 ②人間関係の始まりを理解することができる。 ③人間関係の発達の基本を理解できる。	予習	自分にとっての人間関係とは何かを考えてくる。				
		復習	人間関係の発達各期を整理し、理解を深める。				
		キーワード	野生児、ホーソン実験、発達課題、自己紹介				
授業形態	講義・演習	担当	木村				

実施回	第2回	実施日	2026/05/20 (水)	時限	1	班	
授業計画	2. 人間の発達と自己認知 ①自己概念の考えが理解できる。 ②関係的自己の在り方に気づくことができる。 ③自己評価と自己呈示の関連が理解できる。	予習	教科書P13の鏡に映った自己を読み、自分はどのような人間かについて考えてくる。				
		復習	身近な関係の中で自己呈を示してみる。				
		キーワード	物質的自己、社会的自己、精神的自己、下方比較、上方比較　パーソナルスペース				
授業形態	講義,演習	担当	木村				

実施回	第3回	実施日	2026/06/04 (木)	時限	2	班	
授業計画	3. 対人認知 ①人間の象形成がどのようにして行われるかを理解できる。 ②対人認知には個人差があり、自分の傾向に気づくことができる。	予習	教科書P21の③対人認知の他者への影響を読んでおく。				
		復習	教科書P22のゼミナール③あなたが他者の特性についてもっているステレオタイプの例をあげてみる。				
		キーワード	ネガティビティ-バイアス、後光効果、ピグマリオン効果				
授業形態	講義,演習	担当	木村				

実施回	第4回	実施日	2026/06/17 (水)	時限	1	班	
授業計画	4. 対人関係の成立 ①対人関係の成立条件が理解できる。 ②対人関係の維持と崩壊に至る条件が理解できる。	予習	日常的な自分の対人関係を確認してくる。				
		復習	身近な対人関係における、成立条件は何かを確認してみる。				
		キーワード	類似性、相補性、近接性、社会的交換				
授業形態	講義,演習	担当	木村				

実施回	第5回	実施日	2026/06/17 (水)	時限	2	班	
授業計画	5. 対人葛藤と対処 ①対人的葛藤の種類と特性が理解できる。 ②葛藤を生む認知バイアスを理解することができる。 ③葛藤への対処方法の基本を理解できる。	予習	葛藤とは何かを調べておく。				
		復習	自分の経験の中における葛藤を整理してみる。				
		キーワード	対人葛藤、原因帰属のバイアス、不合理な患者とABC法				
授業形態	講義,演習	担当	木村				

実施回	第6回	実施日	2026/07/01 (水)	時限	1	班	
授業計画	6. 社会的役割 ①対人関係と社会的役割の関連が理解できる。 ②人間関係の中の個性と役割の関係が理解できる。	予習	自分にとっての社会的役割を考えてくる。				
		復習	人間にとっての社会的役割の必要性を整理する。				
		キーワード	役割期待、役割葛藤、バーンアウト				
授業形態	講義,演習	担当	木村				

実施回	第7回	実施日	2026/07/01 (水)	時限	2	班	
授業計画	7. 態度と対人行動 ①態度と対人関係の関連が理解できる。 ②態度が行動に影響する要因を理解できる。 ③態度・意図・行動の変容に至る過程が理解できる。	予習	教科書P42の「態度とは」と「態度と行動」を読んでおく。				
		復習	日常生活の中での、自己の態度を振り返る。				

		キーワード	態度のアクセシビリティ、認知的不協和
授業形態	講義,演習	担当	木村

実施回	第8回	実施日	2026/07/08 (水)	時限	1	班	
授業計画	8. 対人行動とコミュニケーション ①態度に対する説得的コミュニケーションの影響が理解できる。 ②行動に影響を与える要因が理解できる。	予習	自己の態度の振り返りから、行動変容があったかを考えてくる。				
		復習	日常生活の中での、自己の説得的コミュニケーションを確認してみる。				
		キーワード	互恵性のルール、一貫性のルール、ロー・ボール・テクニック、保健信念モデル、ナラティブ、精緻化見込みモデル、				
授業形態	講義,演習	担当	木村				

実施回	第9回	実施日	2026/07/08 (水)	時限	2	班	
授業計画	9. 対人関係における攻撃と援助 ①人間としての攻撃性を理解できる。 ②対人関係における援助行動の心理的基盤が理解できる。 ③人間関係における攻撃と援助の関連が理解できる。	予習	教科書P52の①攻撃の要因を読んでおく。				
		復習	自分の心理的基盤の中の攻撃性と援助行動を確認してみる。				
		キーワード	タナトス、疎外感と攻撃、カタルシス、援助行動と幸福感、心理的安全性				
授業形態	講義,演習	担当	木村				

実施回	第10回	実施日	2026/07/15 (水)	時限	1	班	
授業計画	10. 対人コミュニケーション ①コミュニケーションの意味が理解できる。 ②対人コミュニケーションの機能が理解できる。 ③人間関係におけるコミュニケーションの重要性が理解できる。	予習	教科書P82～83の①コミュニケーションの定義を読んでおく。				
		復習	日常の中で、挨拶を、その意味を考慮しながら実施してみる。				
		キーワード	言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーション、以心伝心、阿吽の呼吸				
授業形態	講義,演習	担当	石井				

実施回	第11回	実施日	2026/07/15 (水)	時限	2	班	
授業計画	11. 集団とマスコミュニケーション ①集団の特性が理解できる。 ②集団におけるコミュニケーションネットワークが理解できる。 ③マスコミュニケーションと集団における影響要因が理解できる。	予習	教科書P60のA集団の特性を読んでおく。				
		復習	自分の周りのコミュニケーションネットワークを確認してみる。				
		キーワード	集団と群衆、集団同一視とステレオタイプ、集団思考メディアリテラシー、ICT				
授業形態	講義,演習	担当	石井				

実施回	第12回	実施日	2026/07/16 (木)	時限	1	班	
授業計画	12. カウンセリングと心理療法 ①心理療法としてのカウンセリングが理解できる。 ②コミュニケーションとしてのカウンセリングマインドを理解できる。	予習	教科書P104～105のAカウンセリング・心理療法の理解とスキルを読んでおく。				
		復習	授業内容を整理し、理解を深める。				
		キーワード	クライエント中心療法、精神力動的精神療法、意識、防衛機制、認知行動療法				
授業形態	講義,演習	担当	木村				

実施回	第13回	実施日	2026/07/16 (木)	時限	2	班	
授業計画	13. コーチングと人間関係 ①コミュニケーション能力としてのコーチンが理解できる。 ②対人関係におけるコーチングスキルの要素が理解できる。	予習	教科書P126のAコーチングの定義を読んでおく。				
		復習	コーチングスキルを整理し、理解を深める。				
		キーワード	ティーチング、コンサルティング、メンター、フィードバック				
授業形態	講義,演習	担当	木村				

実施回	第14回	実施日	2026/07/23 (木)	時限	3	班	

授業計画	14. アサーティブ・コミュニケーション ①アサーティブな自己表現の方法が理解できる。 ②対人的なアサーションのスキルを理解できる。	予　習	教科書P142の①アサーティブ・コミュニケーションとは、を読んでおく。
		復　習	日常生活の中で、アサーティブ・コミュニケーションを意識して会話してみる。
		キーワード	自己表現、DESC法、問題解決法
授業形態	講義,演習	担当	木村

実 施 回	第15回	実　施　日	2026/07/23 (木)	時限	4	班	
授業計画	15. 人間関係の中の存在としての自己 ①家族の中の自己、社会の中の自己を考えることができる。 ②様々な環境の中での自己表現が理解できる。	予　習	教科書P149の①現代の医療の特徴と看護の役割を読んでおく。				
		復　習	授業内容を整理し振り返り、理解を深める。				
		キーワード	チーム医療、コーディネート、リエゾン				
授業形態	講義	担当	木村				